

一般社団法人管路診断コンサルタント協会  
技術副委員長兼企画委員 加山 康浩



2011年3月11日14時46分頃宮城県沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生した。

私が現地入りしたのは、同年4月初旬福島県南相馬市であった。地元コンサルタントに案内されたのが鹿島地区で、その現地へ行く途中では大きな船が国道6号線に打ち上げられていた。父親が元漁師で幼少の時代から船に親しんできた私にとって衝撃的な光景で、涙が止まらなかった事を思い出す。あれから7年4ヶ月が経過し、復興も進んできてはいるが原発事故の影響を受けた周辺地域は、現在も帰還困難区域となっている。

私たちは、時間経過とともに忘れがちではあるが、あの惨憺たる光景を決して忘れず、微力ながら復興に携わって行きたいと思っている。